

わたしたちの人権

112

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできな
い当然の権利これが『人権』です

差別のない町をつくらう・・・

第19回

「5・23差別をなくす」

山都地区集会



「どろんことたいよう」を合唱する参加者

5月24日、矢部中学校体育館で第19回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。約700人の参加者がありました。本集会は部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となりながら、大人も共に学び合う場です。開会前のオープニングを務めたのは、矢響太鼓（やきょうだいこ）。児童館での日ごろの練習の成果を、力強いバチさばきで披露しました。同和保育園の園児、先生は「どろんことたいよう」「つばめになつて」「さんぽ」を爽やかに合唱しました。矢部同研サークルは問題提起として浜田知明の銅版画「ボタン」をスライドに映し出し、反戦平和問題を取り上げ、大衆感覚が麻痺した人間の考え方に分かれると・・・今日の状況に照らして訴えました。次に、解放子ども会小学校・蘇陽南小学校・蘇陽小学校から問題提起がありました。蘇陽南小学校は千興ファームで肉になるまでを見学し、食べ物の「命」について発表。蘇陽小学校からは「こんぴらさ

んのすもう」を勉強し、昔の人はムラの人を迫害視してきたこと等、差別のおかしさを訴えました。特に解放子ども会は、部落問題早期解決のために行われた、ハンガーストライキについて勉強。遠く内大臣から営林署職員の方々が、「連帯」として応援に来られました。その人たちから聞き取りをして学んだ事を、スライドと自分たちで書いた絵と道路を使って発表しました。

- (スローガン)
- 1・自分が闘っていないと、差別は見えない。差別がなくなるまで闘う
 - 1・石川さんから学んだことを、忘れるな
 - 1・差別とたたかう人になろう
 - 1・「人権条例」を実効あるものにしよう
 - 1・学力保障・進路保障、私たちの闘いでこどもの未来を切り拓こう

「第19回5・23差別をなくす山都地区集会」アンケイトから

小学生
○ほくもきめつけられたときがあった。ちがうちがうといいました。でもきいてくれませんでした。ほくはきめつけられたら、ちがう、このひとじゃないといいた。

○じっさい差別された人にちよくせつ聞けてとてもびっくりになりました。
○差別はくなくないと、思いました。小学生がしつかり発表できていたのがすごいと思えました。

中学生

○こんな集会はとても大事だと思います。たくさん一人一人が「差別はいけない」と思うようになるまで、こういう集会に参加していくのは大事だと思います。

○内大臣にかれ葉剤がまかれるのを、そしするために、命をかけて守ったのです。すごいと思いました。
○後で思ったことは、部落差別の解決は、国の責任で起きたことであり、国民的課題であることがわかりました。21世紀を人権の世紀とするため、涙の努力が積み上げられたことが分かりました。それから、みんな、いじめをなくし、なかまはずしやけんかをなくすために、世界中のひとたちで運動やリボン登校とか、していきたいです。

一般20代

○初めて参加しました。解放子ども会の解放学習がすごく影響があるものだと感じました。テーマは違っていても、子ども達が人権学習を通じて「人権」に向き合うことができていると思いました。

一般30代

○子どもの発表を通して大人が考える機会となるともいい集会であると思います。今年も改めて人権について考える事ができました。子ども・教育関係者の参加が多いと思います。

すが、一般の人たちにも広げていくように、さらに啓発してほしいです。
○差別や人権に対する子ども達の熱い気持ちがある集会だったと思います。

一般40代

○山都町においても、これだけ多くの人が集まり、人権について毎年勉強をしているにもかかわらず、「いじめ」があることは本当に残念です。一人一人が周りの人を大切に思える町になる様、これからも啓発が必要と感じました。

一般50代

○子どもたちはがんばっている。でも、多くのおとなは判断してはいるはずなのに、行動とならず、しがらみを計算して要領よくたちまわっていると思う。部落解放運動や同和教育にあり、学ぶこと、で自らが解かれていく喜びをもう一度思い出し進んで行きます。

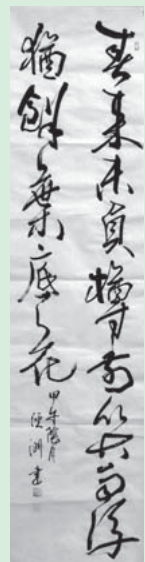
○意見発表が多くびっくりしました。積極的な姿に感動しました。

一般60代

○このような集会を通して差別をなくし、人権を大切に、また人権を守ることは大事だと思います。子ども達の発表も大変素晴らしかったです。みんな、前で自分の思った事を言えるということは、大事なことです。

尚、2015年度の「第20回5・23差別をなくす山都地区集会」を、5月23日(土)に午前8時45分から11時まで矢部中学校体育館で開催する予定です。多くの町民の参加をお待ちしています。

書道



和光教室書道部の大塚憲一さん(米生)作

季節のうた

通潤句会

芍薬に重たき雨となりけり
杉山の暗さ好みてエビネ蘭
恙なく余世来世蓮の花

清和短歌会

若芽ふく山に登れば山の美は
老いの心も若がえらせる
水の上に鴨揺れてゐて春の日は
何事もなく過ぎてゆくなり
山里に車つらなり文楽の
三味に声音の青葉にしみる

馬見原酔山会

片栗のまだ眠さうに咲かんとす
丹精の茶畑あをし阿蘇五岳
耕耘機代田掻き終へ武者震ひ
やまなみの会「山脈」

内大臣山の花見に来たりけり
まん中のへこみし魚板春深し
師の句碑を拝し巡りし花の寺
集落の野焼きは終り一安心
今日から我が家の畔草を焼く
風邪癒えて足どり軽く庭にたちこぶしの蕾のふくらみ仰ぐ
うるさいと大きな声で怒鳴りけり
何の変化かカラスは来ない

菅 清次郎	渡辺 辰男	梶原 公希	本田 彰	水野 信子
村上 園江	増田 信治	梶原 公希	高田ゆかり	天崎 信恵
西田えい子	信治	梶原 公希	三枝 香晴	岩村ヨシ子
				本田 七郎
				今村 芳子
				木下スエオ

7月の当番医

7月 6日	矢部広域病院 (電話 72-1121)
7月 13日	瀬戸病院 (電話 75-0111)
7月 20日	そよう病院 (電話 83-1122)
7月 27日	高田整形外科 (電話 72-1007)

山都町の人口

(平成26年5月31日現在)

男	8,069人	(-10)
女	8,652人	(-15)
計	16,721人	(-25)
世帯	6,705戸	(-9)

※()は前月比
※最高齢は108歳〔女性1人〕
※平成26年5月の出生者数 4人 (今年の出生者数 25人)
※平成26年5月の死亡者数 25人 (今年の死亡者数 161人)

前号の訂正とお詫び

5月28日発行第111号の広報やまとにおいて誤りがありました。関係各位には大変なご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

- 18ページ わたしたちの人権 下段2行目 (誤) 平民童謡 → (正) 平民同様
- 19ページ 寄付 お見舞い返し (誤) 馬見原 遠山 フキ様 → (正) 下山 遠山 フキ様

編集後記

今年も半年が終わり、折り返しを迎えます。つい先日、「御岳の竹灯り」で年越しを迎えたような気がしますが、月日が経つのはあっという間です。振り返るとあっという間ですが、先を見ると長く感じるのは自分だけでしょうか。広報を作成する際も、作り終えた広報紙を眺めるとあっという間のひと月ですが、次号の作成が始まると完成するまでが物凄く長く感じます。これから訪れる半年が自分にとって更に価値があるよう、一生懸命頑張っていこうと思います。そして年末に今年を振り返り、これまで生きてきた中で最高の一年だったと心から思えるような年越しを迎えたい(㊟)。



ご寄付いただきました

社協へ

香典返し

・米生 米田 定様	・畑 志賀 重男様	・北中島 坂本 貞子様	・津留 西村 利夫様	・北中島 大木 利恵様	・東京都 稲葉 清子様	・麻山 村山 勇様	・菅尾 甲斐 光明様	・二瀬本 山口 義明様	・方ヶ野 倉岡 克行様	・馬見原 原 幸輔様	・二瀬本 飯星 直子様
故 米田トシ子様	故 志賀 泉様	故 坂本 繁様	故 西村カズエ様	故 大木ミドリ様	故 川上カネヲ様	故 村山 ツヤ様	故 甲斐タマヨ様	故 山口ミドリ様	故 倉岡 ツイ様	故 原 定義様	故 飯星西海男様